

日商産一発 第70号

2012年9月28日

商工会議所LOBO（早期景気観測）

――2012年9月調査結果――

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

LOBO調査（2012年9月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。
 実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。
 なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。
 （アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 浪江・張替
 TEL：03-3283-7839
 FAX：03-3213-8716
 E-mail：sangyo1@jcci.or.jp

○調査期間：2012年9月13日～20日
 ○調査対象：全国の417商工会議所が3065企業にヒアリング
 （東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

<産業別回収状況>				<ブロック別回収率>	
調査産業	調査対象数	回答数	回収率		
建設	461	230	49.9%	北海道	47.7%
製造	740	370	50.0%	東北	46.9%
卸売	323	161	49.8%	北陸信越	40.9%
小売	743	336	45.2%	関東	47.4%
サービス	798	367	46.0%	東海	48.3%
合計	3065	1464	47.7%	近畿	44.9%
				中国	49.8%
				四国	68.1%
				九州	46.8%

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）
 ※ DI値（景況判断指数）について
 DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
 業況・採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

――【2012年9月調査結果のポイント】――

業況DIは、悪化。先行きは若干改善するも懸念材料は多い

9月の全産業合計の業況DIは、▲26.6と、前月から▲2.8ポイントの悪化。海外経済、とりわけ中国経済の減速に伴う輸出の減少や、超円高等を背景とした取引先の海外移転・調達の加速により、受注の減少が続く。また、穀物や原油価格の高騰に伴い仕入価格が上昇しているものの、中小企業においては価格転嫁は難しく、収益を圧迫。経営環境はさらに厳しさが増している。
 先行きについては、先行き見通しDIが▲24.7（今月比+1.9ポイント）と、改善する見込み。秋の観光シーズンを迎えるほか、秋物商戦の本格化が見込まれることなどが要因。一方で、超円高の定着や、穀物・原油価格の高騰、エコカー補助金終了による内需の減速等、先行きに対する懸念材料も多い。

ブロック・産業別業況DI（前年同月比：2012年9月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲ 26.6	▲ 16.6	▲ 27.8	▲ 19.3	▲ 40.3	▲ 22.5
北海道	▲ 13.3	▲ 15.0	▲ 4.8	7.1	▲ 28.6	▲ 16.2
東北	▲ 4.8	4.5	▲ 13.0	12.5	▲ 19.2	4.0
北陸信越	▲ 25.8	▲ 24.1	▲ 23.3	▲ 46.2	▲ 21.4	▲ 25.0
関東	▲ 28.1	▲ 10.3	▲ 37.4	▲ 19.6	▲ 42.4	▲ 20.6
東海	▲ 22.1	▲ 3.7	▲ 20.3	▲ 5.9	▲ 50.0	▲ 17.3
近畿	▲ 27.1	▲ 13.0	▲ 20.8	▲ 20.0	▲ 36.4	▲ 37.8
中国	▲ 41.2	▲ 18.2	▲ 33.3	▲ 69.2	▲ 60.0	▲ 25.0
四国	▲ 40.4	▲ 50.0	▲ 36.0	▲ 20.0	▲ 55.6	▲ 29.6
九州	▲ 35.4	▲ 36.8	▲ 44.4	▲ 10.0	▲ 40.6	▲ 37.5

ブロック・産業別業況DI（先行き見通し：2012年10～12月）

上段：2012年9月時点
下段：2011年9月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲ 24.7	▲ 23.6	▲ 26.8	▲ 14.9	▲ 31.1	▲ 21.9
北海道	▲ 33.0	▲ 41.7	▲ 27.4	▲ 32.9	▲ 33.2	▲ 33.0
東北	▲ 20.4	▲ 35.0	▲ 9.5	▲ 7.1	▲ 33.3	▲ 16.2
北陸信越	▲ 31.9	▲ 38.5	▲ 45.5	▲ 42.9	▲ 36.8	▲ 10.5
関東	▲ 13.3	▲ 9.1	▲ 34.8	▲ 12.5	▲ 7.4	▲ 4.0
東海	▲ 21.5	▲ 5.9	▲ 28.6	12.5	▲ 16.0	▲ 45.5
近畿	▲ 21.9	▲ 34.5	▲ 20.0	▲ 23.1	▲ 7.1	▲ 25.0
中国	▲ 34.5	▲ 34.8	▲ 32.1	▲ 25.0	▲ 51.9	▲ 23.1
四国	▲ 29.7	▲ 24.1	▲ 41.4	▲ 19.6	▲ 30.4	▲ 25.5
九州	▲ 36.9	▲ 42.4	▲ 28.9	▲ 37.9	▲ 35.6	▲ 41.1
全国	▲ 24.6	3.7	▲ 33.9	0.0	▲ 52.5	▲ 15.4
北海道	▲ 25.4	▲ 35.3	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 21.9	▲ 20.0
東北	▲ 20.9	▲ 17.4	▲ 7.5	▲ 15.0	▲ 31.8	▲ 32.4
北陸信越	▲ 33.7	▲ 55.6	▲ 34.9	▲ 26.7	▲ 37.3	▲ 19.4
関東	▲ 29.0	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 46.2	▲ 34.8	▲ 15.0
東海	▲ 37.6	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 63.6	▲ 30.8	▲ 45.0
近畿	▲ 24.8	▲ 40.0	▲ 8.0	10.0	▲ 40.7	▲ 25.9
中国	▲ 23.7	▲ 55.0	▲ 3.3	▲ 20.0	▲ 14.3	▲ 34.6
四国	▲ 27.5	▲ 47.4	▲ 18.5	▲ 10.0	▲ 34.4	▲ 27.3
九州	▲ 39.8	▲ 55.0	▲ 30.0	▲ 30.8	▲ 45.5	▲ 37.0

※「先行き見通し」は当月に比した向こう3カ月の先行き見通しDI（以下同じ）

産業別にみると、業況DIは、建設業、卸売業で改善、その他の3業種は悪化。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「省エネ住宅の問い合わせが増加しており、今後の受注増を期待」（建築工事業）、「大手住宅メーカーが進出。地元の技能工が、大手からの仕事を優先させている」（一般工事業）、「携帯電話会社が基地局設置に伴う発注を増加させており、業況は好転」（電気通信工事業）

【製造業】「エコカー補助金終了に伴う減産により、業況は悪化。今後の収益確保が課題」（自動車部品製造業）、「大口取引先である鉄鋼メーカーの輸出が伸び悩み、自社も影響を受けている。国内向け製品の受注量は堅調だが、コストダウン要請が強い」（煉瓦製造業）、「ウォールナットやトチノキ等の人気木材の価格が上昇しているため、海外調達に切り替えて仕入価格を抑制している」（家具製造業）

【卸売業】「防水・防蝕関連の建築資材が売上の主力だったが、新たに、橋梁・河川用の土木資材分野に進出」（建築材料卸売業）、「売上は増加しているものの、穀物価格の高騰により加工食品の仕入価格は上昇しており、採算の改善には至らない」（食料品卸売業）、「大手ホームセンターが進出。建設業等では仕入先を低価格なホームセンターにシフトさせており、自社の経営は厳しくなっている」（塗料卸売業）

【小売業】「残暑が厳しく、秋物衣料の出足が鈍い」（百貨店）、「電気料金が3割増加。負担が重く、節電での対応に限界が来ている」（総合スーパー）、「食料品の品揃えや価格面で、近隣に展開するコンビニ等との競争が激化。さらに値下げせざるを得ない」（食料品等販売）

【サービス業】「燃料価格が再び上昇し始めており、経営に影響が出ている」（運送業）、「発注はあるものの、1イベントあたりの予算削減が進んでおり、業況はなかなか回復しない」（イベント企画・運営）、「中国人観光客の増加を期待したが、キャンセルが相次ぎ、先行きは不透明」（旅館業）

【業況についての判断】

○ 9月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は▲26.6（前月比▲2.8ポイント）と、悪化。産業別にみると、建設業、卸売業は、復興需要を中心とした公共工事や携帯電話各社の基地局増設が堅調で、関連資材の動きも活発であることなどから改善。製造業は、自動車関連でエコカー補助金終了を見越した減産が続いたほか、電力料金の負担増やコストダウン要請による収益の圧迫などからマイナス幅が拡大。小売業は、残暑が厳しく、秋物商品の出足が低調だったほか、大手専門店等の出店攻勢により、競争激化が続いていることなどから業況は悪化。サービス業は、穀物や原油価格が上昇しているものの、価格転嫁が進んでいないことに加え、中国人観光客の宿泊キャンセル等の影響が出始めていることなどからマイナス幅が拡大。

○ 向こう3カ月（10～12月）の先行き見通しは、全産業合計の業況DI（今月比ベース）は▲24.7（今月比+1.9ポイント）と、改善する見込み。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業は、新規の受注が低迷しているほか、秋冬に向けて公共工事の減少が懸念されることから悪化。卸売業、小売業は、秋物商品の需要を見込むことなどから改善。サービス業は、秋の観光シーズンを迎え、観光客の増加が期待されるものの、穀物や原油価格の高騰が続いていることからほぼ横ばいの見込み。

【売上（受注・出荷）についての判断】

○ 売上面では、全産業合計の売上DIは▲21.6（前月比▲3.0ポイント）と、前月からマイナス幅は拡大。産業別にみると、建設業は、復興需要を中心とした公共工事や携帯電話各社の基地局増設が堅調で、関連資材の動きも活発であることなどから改善。製造業は、自動車関連でエコカー補助金終了を見越した減産が続いたほか、超円高等を背景とした取引先の海外移転・調達の加速に伴う受注減少や、コストダウン要請が続いていることなどからマイナス幅が拡大。小売業は、残暑が厳しく、秋物商品の出足が低調だったほか、大手専門店等の出店攻勢により、競争激化が続いていることなどから悪化。サービス業は、穀物や原油価格が上昇しているものの、価格転嫁が進んでいないことに加え、中国人観光客の宿泊キャンセル等の影響が出始めていることなどからマイナス幅が拡大。

○ 向こう3カ月（10～12月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲20.0（今月比+1.6ポイント）と、改善する見込み。

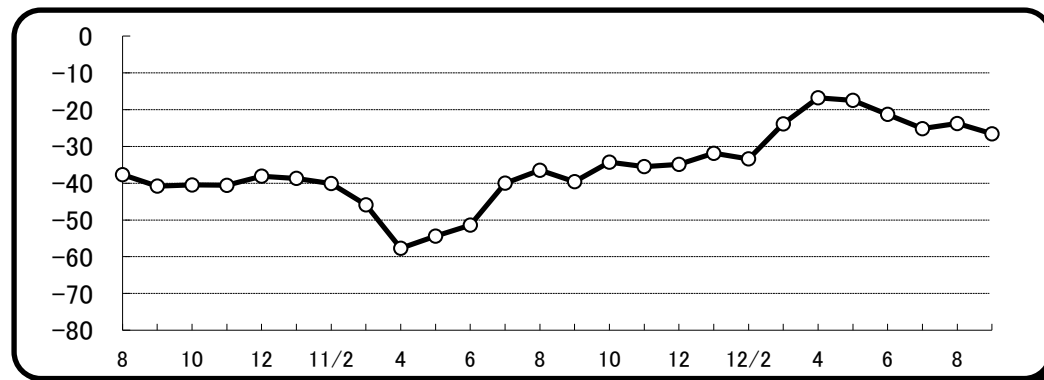
○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業、製造業は悪化、サービス業はほぼ横ばい、その他の2業種については改善する見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
全産業	▲16.8	▲17.5	▲21.3	▲25.2	▲23.8	▲26.6	▲24.7
建設	▲24.0	▲24.9	▲19.1	▲25.8	▲19.6	▲16.6	▲23.6
製造	▲9.5	▲7.5	▲13.7	▲18.1	▲21.9	▲27.8	▲26.8
卸売	▲17.3	▲14.0	▲14.5	▲23.6	▲27.3	▲19.3	▲14.9
小売	▲27.5	▲29.3	▲34.2	▲43.1	▲34.3	▲40.3	▲31.1
サービス	▲9.6	▲13.8	▲21.5	▲15.6	▲16.6	▲22.5	▲21.9

※「先行き見通し」は当月に比した向こう3カ月の先行き見通しDI

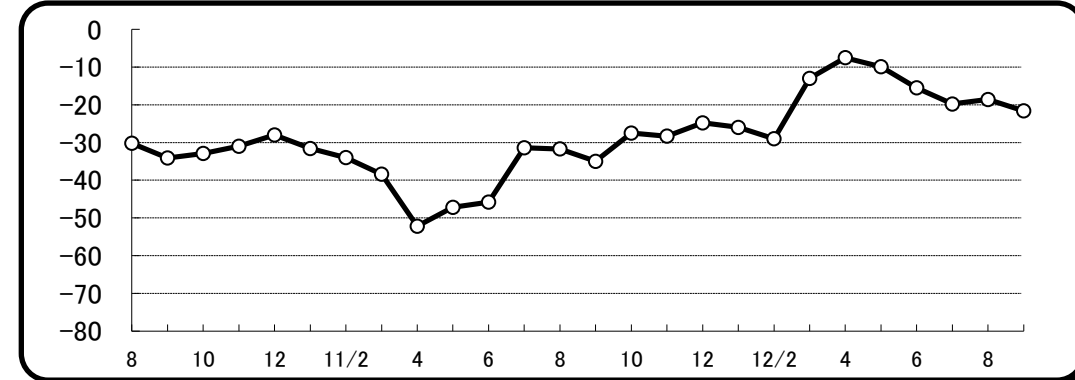
《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
全産業	▲7.5	▲9.9	▲15.5	▲19.8	▲18.6	▲21.6	▲20.0
建設	▲14.7	▲17.6	▲12.3	▲16.2	▲12.7	▲7.9	▲15.7
製造	0.8	0.5	▲7.5	▲13.0	▲17.5	▲25.5	▲26.6
卸売	▲9.3	▲6.7	▲9.5	▲20.7	▲17.8	▲17.4	▲6.2
小売	▲15.5	▲22.6	▲30.3	▲38.8	▲33.0	▲34.1	▲25.9
サービス	▲3.3	▲5.4	▲14.6	▲10.3	▲10.2	▲16.4	▲16.7

《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



【採算の状況についての判断】

○ 採算面では、全産業合計の採算D Iは▲24.0（前月比▲2.9ポイント）と、前月からマイナス幅は拡大。産業別にみると、建設業、卸売業は、復興需要を中心とした公共工事や携帯電話各社の基地局増設が堅調で、関連資材の動きも活発であることなどから改善。製造業は、自動車関連でエコカー補助金終了を見越した減産が続いたほか、電力料金の負担増やコストダウン要請による収益の圧迫などからマイナス幅が拡大。サービス業は、穀物や原油価格が上昇しているものの、価格転嫁が進んでいないことに加え、中国人観光客の宿泊キャンセル等の影響が出始めていることなどからマイナス幅が拡大。

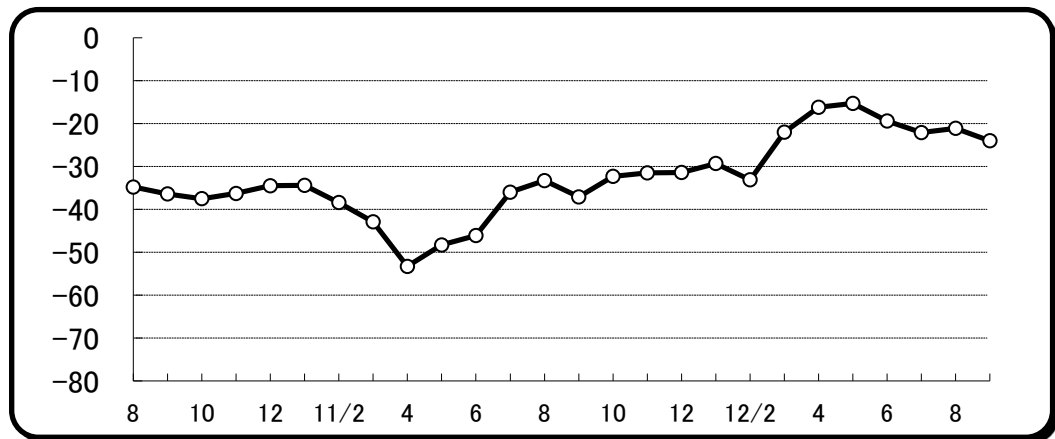
○ 向こう3カ月（10～12月）の先行き見通しについては、全産業合計の採算D I（今月比ベース）は▲22.4と、今月と比べ、改善を見込んでいる。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業、製造業はマイナス幅が拡大、その他の3業種は改善する見込み。

採算D I（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
全産業	▲16.2	▲15.3	▲19.4	▲22.1	▲21.1	▲24.0	▲22.4
建設	▲22.7	▲26.4	▲22.8	▲23.5	▲22.4	▲17.0	▲21.4
製造	▲13.1	▲6.7	▲14.7	▲17.1	▲16.0	▲27.7	▲29.0
卸売	▲13.6	▲11.2	▲9.5	▲16.1	▲22.4	▲18.0	▲13.0
小売	▲20.1	▲21.9	▲28.3	▲35.3	▲33.0	▲31.4	▲24.4
サービス	▲12.6	▲13.4	▲18.6	▲16.4	▲13.6	▲20.3	▲18.7

《採算D I（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りD I（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
全産業	▲9.7	▲10.7	▲12.7	▲13.0	▲11.2	▲14.3	▲15.5
建設	▲14.9	▲12.8	▲15.2	▲19.8	▲11.2	▲17.6	▲18.9
製造	▲5.2	▲6.5	▲7.0	▲9.7	▲9.4	▲12.9	▲17.5
卸売	▲5.0	▲5.6	▲4.5	▲4.1	▲8.6	▲10.6	▲6.3
小売	▲13.9	▲15.0	▲16.9	▲18.8	▲14.9	▲19.0	▲17.5
サービス	▲9.6	▲12.0	▲17.1	▲10.8	▲11.0	▲10.9	▲13.6

D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の資金繰りD Iは▲14.3と、前月からマイナス幅は拡大。産業別にみると、サービス業はほぼ横ばい、その他の4業種は悪化した。製造業、小売業では、受注減少や消費単価の低下などに伴う売上低迷が主因。一方、建設業では、受注の増加に伴い、資金繰りが苦しくなっていることなどから悪化。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ拡大する見込み。産業別にみると、卸売業、小売業で改善。その他の3業種はマイナス幅が拡大する見込み。

仕入単価D I（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
全産業	▲30.1	▲25.1	▲19.3	▲15.2	▲14.7	▲19.1	▲19.1
建設	▲38.1	▲35.5	▲25.5	▲26.2	▲23.5	▲25.1	▲26.0
製造	▲34.3	▲29.0	▲21.0	▲14.3	▲15.3	▲17.3	▲14.6
卸売	▲24.1	▲20.8	▲19.0	▲12.1	▲6.3	▲21.7	▲18.6
小売	▲21.5	▲16.1	▲11.4	▲7.8	▲10.6	▲13.9	▲16.7
サービス	▲31.7	▲25.3	▲21.3	▲17.9	▲16.2	▲20.7	▲21.8

D I = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の仕入単価D Iは▲19.1と、前月からマイナス幅は拡大。産業別にみても、全業種で悪化した。とりわけ卸売業では、穀物や原油価格の高騰に伴い関連商品の価格が上昇していることから大幅に悪化した。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ横ばいとなる見込み。産業別にみると、製造業、卸売業はマイナス幅が縮小、建設業はほぼ横ばい、その他の2業種は悪化する見込み。

従業員D I（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
全産業	0.1	▲1.7	▲0.3	▲0.8	1.6	▲0.2	0.9
建設	▲3.5	▲7.2	▲4.1	▲1.3	2.0	3.1	8.8
製造	▲2.6	▲4.0	▲0.2	▲3.3	▲5.2	▲9.5	▲8.4
卸売	▲4.3	▲6.2	▲7.8	▲5.7	▲3.4	▲6.8	▲5.0
小売	3.4	0.5	1.6	▲0.8	4.0	3.6	4.2
サービス	3.9	4.1	4.0	4.5	9.1	6.6	5.0

D I = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の従業員D Iは▲0.2と、前月から人手不足感が改善した。産業別にみると、建設業は人手不足感が強まったが、サービス業は人手不足感が弱まった。小売業はほぼ横ばい、その他の2業種は人手過剰感が強まった。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、今月と比べ、人手不足感は強まる見込み。産業別にみると、建設業は人手不足感が強まるものの、サービス業は人手不足感が改善、小売業はほぼ横ばい、その他の2業種は人手過剰感が弱まる見込み。

2012年9月

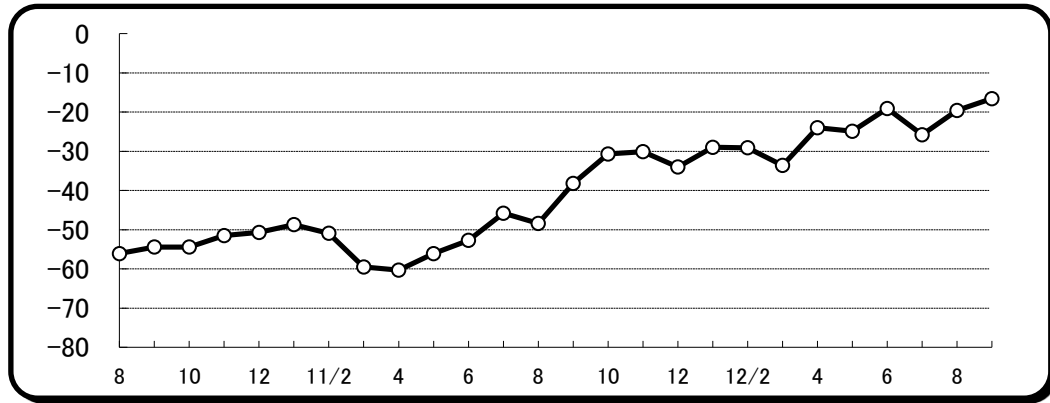
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全国	-21.6	-20.0	-24.0	-22.4	-14.3	-15.5	-19.1	-19.1	-0.2	0.9	-26.6	-24.7
北海道	-16.1	-18.6	-15.9	-17.7	-8.0	-11.5	-17.0	-15.2	-1.8	-2.7	-13.3	-20.4
東北	2.9	-10.5	-6.7	-12.4	-6.8	-14.3	-29.8	-26.7	6.7	6.7	-4.8	-13.3
北陸信越	-24.2	-27.6	-26.6	-22.8	-19.7	-20.3	-14.1	-21.1	-3.9	-1.6	-25.8	-21.9
関東	-22.6	-21.9	-25.8	-26.1	-16.0	-18.3	-20.9	-20.9	4.0	2.8	-28.1	-29.7
東海	-12.9	-14.4	-17.6	-21.9	-9.4	-11.5	-18.0	-15.9	-2.1	2.1	-22.1	-24.6
近畿	-21.1	-16.6	-22.9	-20.0	-12.1	-10.4	-15.6	-17.3	1.1	2.9	-27.1	-20.9
中国	-36.3	-30.0	-31.4	-25.0	-19.2	-14.4	-8.9	-9.2	-8.8	-5.1	-41.2	-29.0
四国	-34.9	-20.2	-36.7	-24.8	-13.8	-17.4	-22.9	-16.5	0.0	0.9	-40.4	-24.8
九州	-30.8	-20.6	-31.0	-22.9	-21.9	-18.6	-22.5	-25.4	-6.2	-3.8	-35.4	-27.5
建設												
全国	-7.9	-15.7	-17.0	-21.4	-17.6	-18.9	-25.1	-26.0	3.1	8.8	-16.6	-23.6
北海道	-5.3	-35.0	-20.0	-30.0	-15.8	-30.0	-25.0	-20.0	0.0	5.0	-15.0	-35.0
東北	27.3	9.1	-4.5	-4.5	0.0	-9.1	-45.5	-27.3	22.7	22.7	4.5	-9.1
北陸信越	-24.1	-48.3	-27.6	-34.5	-25.0	-35.7	-20.7	-27.6	-3.4	0.0	-24.1	-34.5
関東	-8.6	-17.2	-15.5	-24.1	-13.8	-13.8	-31.6	-29.8	5.3	12.3	-10.3	-24.1
東海	3.7	14.8	0.0	3.7	-22.2	-7.4	-14.8	-22.2	3.7	22.2	-3.7	3.7
近畿	4.3	-4.3	-4.3	-17.4	-4.3	-4.3	-9.1	-27.3	4.3	0.0	-13.0	-17.4
中国	9.1	0.0	0.0	0.0	-9.1	-9.1	9.1	-18.2	18.2	9.1	-18.2	-9.1
四国	-35.0	-25.0	-40.0	-45.0	-25.0	-25.0	-30.0	-10.0	-10.0	0.0	-50.0	-40.0
九州	-36.8	-26.3	-42.1	-31.6	-47.4	-42.1	-36.8	-42.1	-10.5	0.0	-36.8	-47.4
製造												
全国	-25.5	-26.6	-27.7	-29.0	-12.9	-17.5	-17.3	-14.6	-9.5	-8.4	-27.8	-26.8
北海道	-14.3	9.5	-4.8	-14.3	-4.8	-9.5	-14.3	-9.5	-4.8	-4.8	-4.8	-9.5
東北	0.0	-34.8	-8.7	-21.7	-13.6	-34.8	-30.4	-21.7	-8.7	-8.7	-13.0	-34.8
北陸信越	-43.3	-30.0	-40.0	-33.3	-24.1	-17.2	-20.0	-16.7	-10.0	-3.3	-23.3	-20.0
関東	-30.3	-38.4	-36.4	-41.4	-18.2	-26.3	-20.2	-20.2	-8.2	-9.2	-37.4	-41.4
東海	-8.5	-27.1	-15.3	-30.5	-1.7	-13.6	-13.6	-1.7	-13.6	-20.3	-20.3	-33.9
近畿	-21.2	-15.4	-17.3	-13.5	-5.8	-9.6	-11.3	-11.3	-11.3	-1.9	-20.8	-7.5
中国	-39.4	-39.4	-27.3	-27.3	-15.6	-6.3	-3.0	-9.4	-15.2	-12.1	-33.3	-33.3
四国	-44.0	-8.0	-52.0	-24.0	-12.0	-24.0	-20.0	-20.0	0.0	0.0	-36.0	-8.0
九州	-29.6	-22.2	-42.3	-29.6	-23.1	-7.7	-29.6	-25.9	-7.4	-3.7	-44.4	-18.5

2012年9月

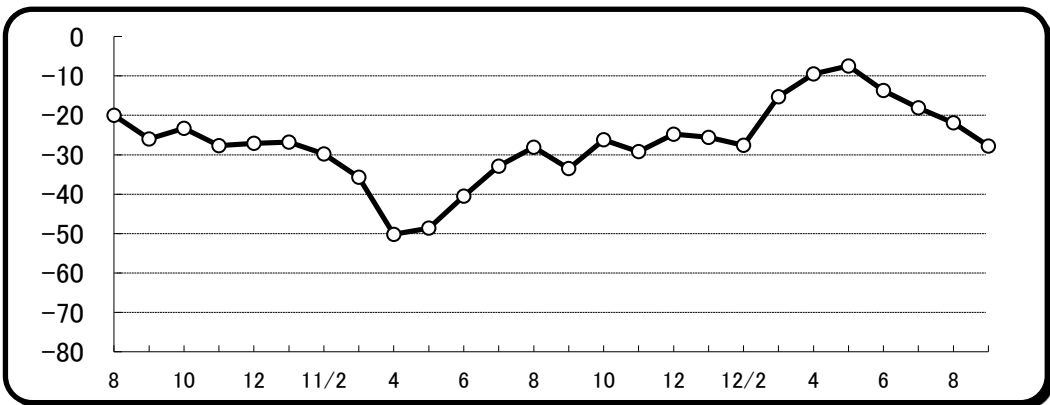
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸売												
全国	-17.4	-6.2	-18.0	-13.0	-10.6	-6.3	-21.7	-18.6	-6.8	-5.0	-19.3	-14.9
北海道	0.0	-21.4	-7.1	-14.3	7.1	0.0	-28.6	-28.6	-7.1	-7.1	7.1	-7.1
東北	0.0	-25.0	12.5	-25.0	0.0	-12.5	-25.0	-50.0	0.0	-12.5	12.5	-12.5
北陸信越	-7.7	-7.7	-30.8	-15.4	-33.3	-8.3	-23.1	-15.4	-7.7	-7.7	-46.2	-23.1
関東	-13.0	-4.3	-17.4	-17.4	-6.5	-6.5	-26.1	-21.7	0.0	-2.2	-19.6	-19.6
東海	-11.8	5.9	-11.8	-11.8	0.0	5.9	-17.6	-11.8	-23.5	-23.5	-5.9	0.0
近畿	-15.0	-5.0	-20.0	-10.0	-25.0	-10.0	-25.0	-20.0	0.0	10.0	-20.0	-15.0
中国	-53.8	-30.8	-46.2	-38.5	-30.8	-23.1	0.0	0.0	-15.4	-7.7	-69.2	-46.2
四国	-50.0	-10.0	-30.0	10.0	10.0	20.0	-30.0	-10.0	0.0	0.0	-20.0	10.0
九州	-20.0	15.0	-10.0	5.0	-15.0	-15.0	-15.0	-15.0	-15.0	-5.0	-10.0	-10.0
小売												
全国	-34.1	-25.9	-31.4	-24.4	-19.0	-17.5	-13.9	-16.7	3.6	4.2	-40.3	-31.1
北海道	-23.8	-33.3	-28.6	-19.0	-9.5	-4.8	-19.0	-19.0	-4.8	-9.5	-28.6	-33.3
東北	-3.8	-3.7	-7.7	-7.4	-19.2	-14.8	-11.5	-14.8	7.7	11.1	-19.2	-7.4
北陸信越	-25.0	-11.1	-21.4	11.1	-19.2	-11.5	-14.3	-25.0	-14.3	-7.1	-21.4	-7.1
関東	-38.0	-23.9	-30.4	-23.9	-22.0	-20.9	-9.9	-13.0	13.2	11.0	-42.4	-30.4
東海	-35.0	-40.0	-37.5	-52.5	-12.8	-17.9	-17.5	-22.5	10.0	15.0	-50.0	-52.5
近畿	-32.6	-23.3	-34.9	-25.6	-14.3	-7.1	-19.5	-17.1	0.0	2.3	-36.4	-31.8
中国	-60.0	-34.8	-48.0	-34.8	-25.0	-22.7	0.0	-4.5	-20.0	-9.1	-60.0	-34.8
四国	-33.3	-25.9	-33.3	-25.9	-22.2	-25.9	-33.3	-25.9	18.5	11.1	-55.6	-40.7
九州	-43.8	-37.5	-37.5	-28.1	-22.6	-25.8	-6.3	-12.5	-3.1	-9.4	-40.6	-34.4
サービス												
全国	-16.4	-16.7	-20.3	-18.7	-10.9	-13.6	-20.7	-21.8	6.6	5.0	-22.5	-21.9
北海道	-24.3	-16.2	-16.2	-13.5	-10.8	-10.8	-8.3	-8.3	2.7	0.0	-16.2	-16.2
東北	-8.0	-8.0	-12.0	-12.0	4.0	0.0	-36.0	-36.0	8.0	8.0	4.0	-4.0
北陸信越	-10.7	-28.6	-14.3	-35.7	-3.7	-21.4	3.6	-17.9	14.8	7.4	-25.0	-25.0
関東	-13.9	-15.0	-21.3	-18.7	-14.2	-16.2	-23.1	-23.4	8.5	3.8	-20.6	-25.5
東海	-9.8	-2.0	-16.0	-4.1	-12.0	-12.0	-26.1	-26.1	5.8	15.4	-17.3	-15.4
近畿	-27.0	-24.3	-29.7	-29.7	-16.7	-19.4	-16.2	-18.9	18.9	8.1	-37.8	-32.4
中国	-15.0	-25.0	-25.0	-15.0	-15.8	-15.8	-45.0	-15.0	5.0	5.0	-25.0	-15.0
四国	-22.2	-25.9	-25.9	-22.2	-7.4	-11.1	-7.4	-11.1	-11.1	-7.4	-29.6	-25.9
九州	-21.9	-21.2	-21.9	-24.2	-9.4	-9.1	-29.0	-34.4	0.0	0.0	-37.5	-27.3

業況DI（前年同月比）の推移（全国）

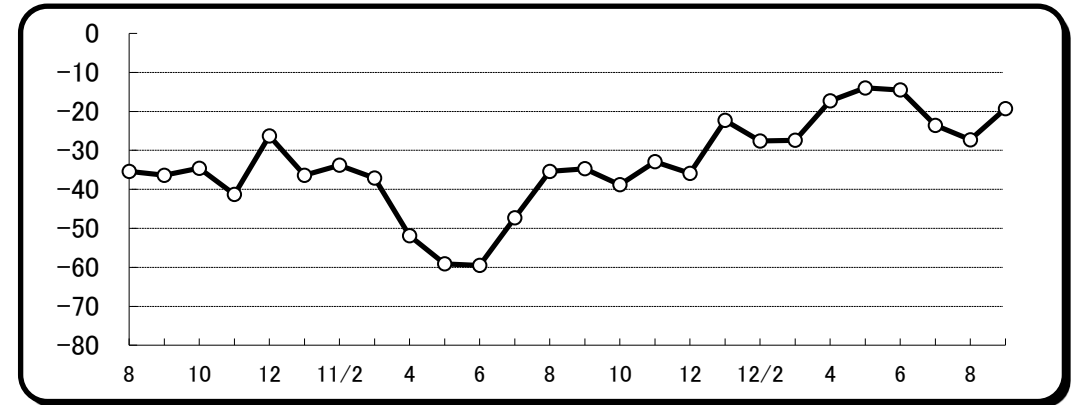
建設業



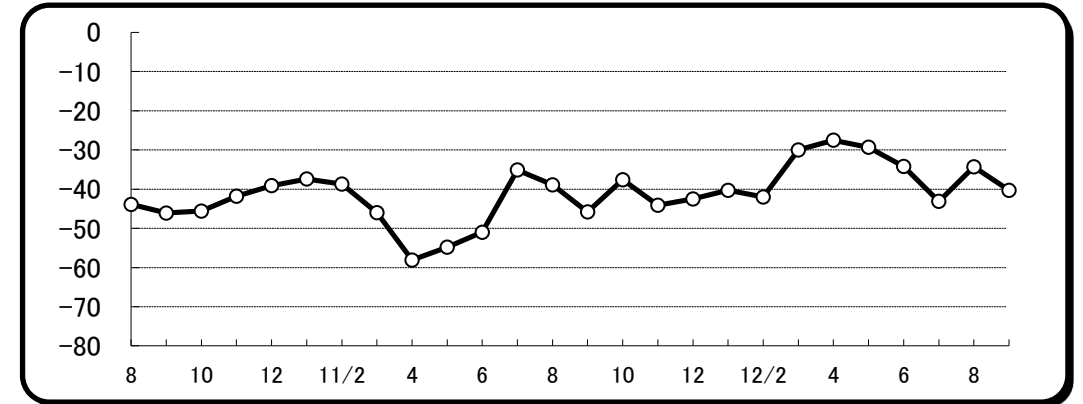
製造業



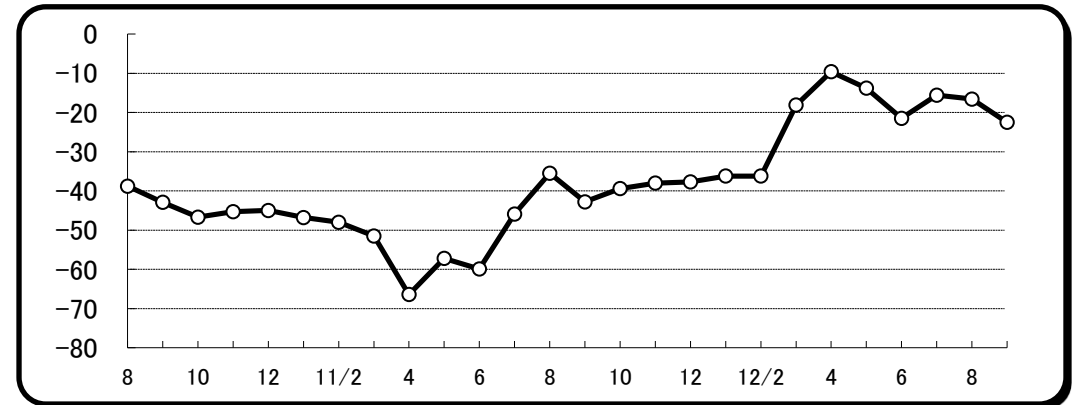
卸売業



小売業



サービス業



【ブロック別概況・北海道】

○全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、建設業がほぼ横ばい、サービス業が悪化、その他の3業種で改善した。

○一般工事業からは、「建設工事の案件は多いものの、技能工等の不足により人件費が上昇しており、負担となっている」とのコメント。家具製造業からは、「安価な輸入品が多く流通しており、価格面で厳しい競争を強いられている。利益確保が難しい」とのコメント。衣類・日用品卸売業からは、「主要な取引先は道内の小売店が多かったが、販路拡大のため東北での営業を始めた」との声、ソフトウェア開発業からは、「取引先である大手企業の業績が低迷。自社の売上も減少している」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、サービス業は横ばい、その他の4業種は悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
業況	▲ 18.4	▲ 11.5	▲ 18.3	▲ 25.3	▲ 14.3	▲ 13.3	▲ 20.4
売上	▲ 21.2	▲ 9.3	▲ 4.8	▲ 18.4	▲ 10.4	▲ 16.1	▲ 18.6
採算	▲ 21.4	▲ 12.6	▲ 6.1	▲ 16.1	▲ 11.7	▲ 15.9	▲ 17.7
資金繰り	▲ 10.2	▲ 9.4	▲ 3.7	▲ 8.0	▲ 1.3	▲ 8.0	▲ 11.5
仕入単価	▲ 17.3	▲ 14.7	▲ 12.2	▲ 12.6	▲ 7.8	▲ 17.0	▲ 15.2
従業員	0.0	1.0	2.4	▲ 2.3	1.3	▲ 1.8	▲ 2.7

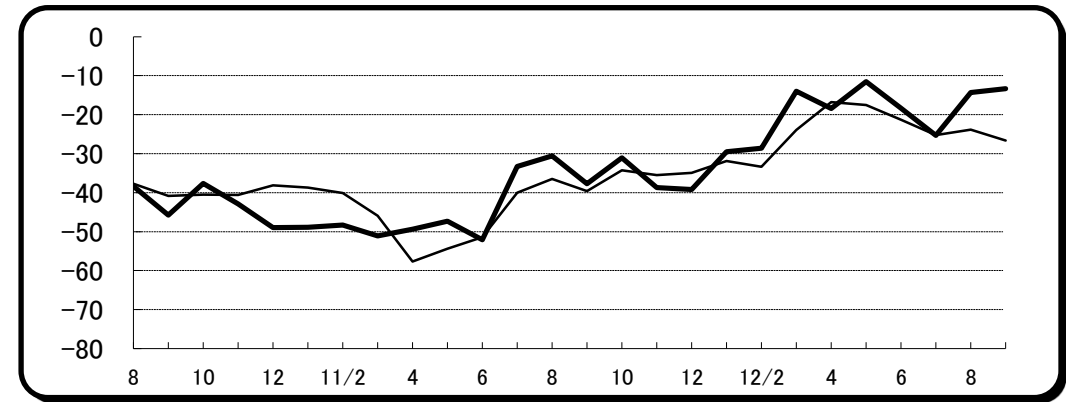
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
建設	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 21.4	▲ 15.4	▲ 15.0	▲ 35.0
製造	0.0	5.6	▲ 7.1	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 4.8	▲ 9.5
卸売	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 11.1	7.1	▲ 7.1
小売	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 47.6	▲ 36.0	▲ 31.6	▲ 28.6	▲ 33.3
サービス	▲ 22.2	▲ 6.9	▲ 8.3	▲ 20.8	10.0	▲ 16.2	▲ 16.2

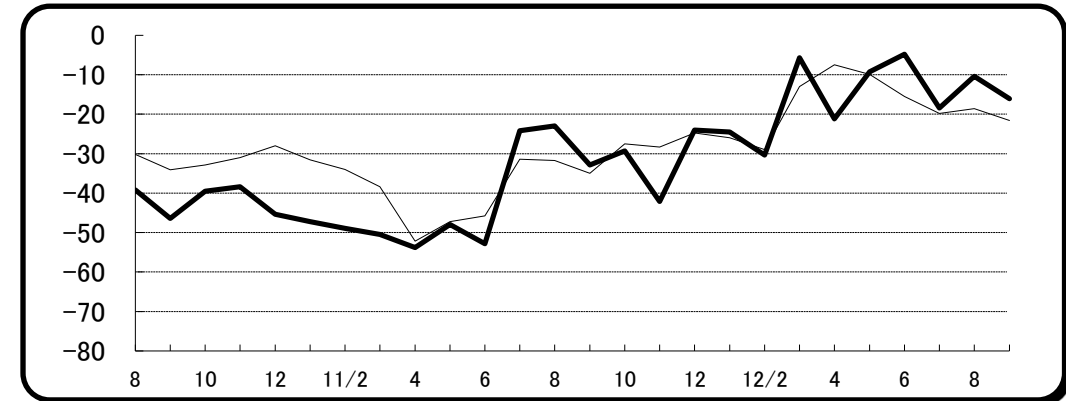
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道 —— 全国

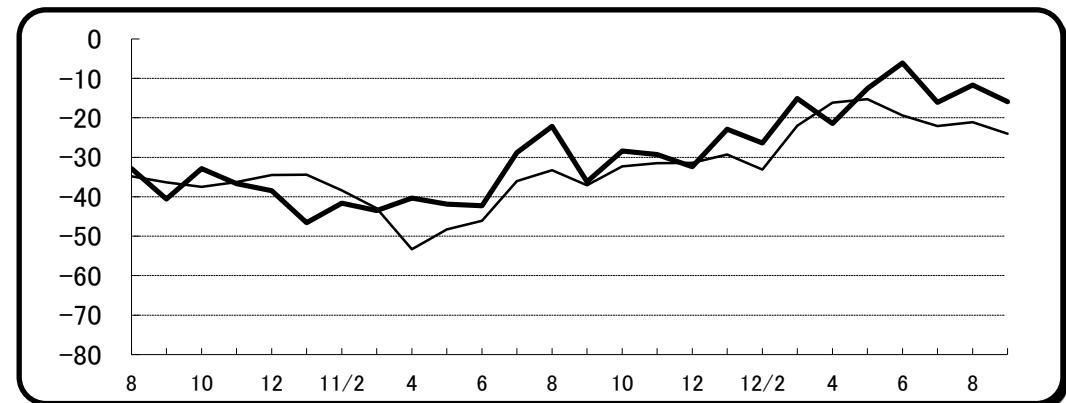
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東北】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、小売業でほぼ横ばい、その他の4業種で改善した。

○建設工事業からは、「他県から同業者が参入。地元での受注が減少しつつある」とのコメント。火薬類製造業からは、「原油価格の上昇により、生産コストが増加。収益を圧迫している」とのコメント。百貨店からは、「採用募集をしているが、応募が少ない。採用しても長続きせず、早期に離職するケースが多いため、人手不足の状態が続く」との声、旅館業からは、「復興関連の宿泊利用が堅調。観光客の宿泊予約は震災前と比較すると8割程度まで回復」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、小売業は改善するものの、その他の4業種は悪化の見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
業況	▲4.1	▲1.6	▲9.1	▲3.3	▲13.4	▲4.8	▲13.3
売上	9.8	9.0	▲1.7	▲11.5	▲6.2	2.9	▲10.5
採算	▲4.9	▲4.9	▲11.6	▲16.4	▲11.5	▲6.7	▲12.4
資金繰り	0.8	2.5	▲2.5	0.0	▲1.8	▲6.8	▲14.3
仕入単価	▲43.1	▲35.2	▲32.5	▲18.9	▲27.4	▲29.8	▲26.7
従業員	5.7	6.6	6.6	13.9	8.0	6.7	6.7

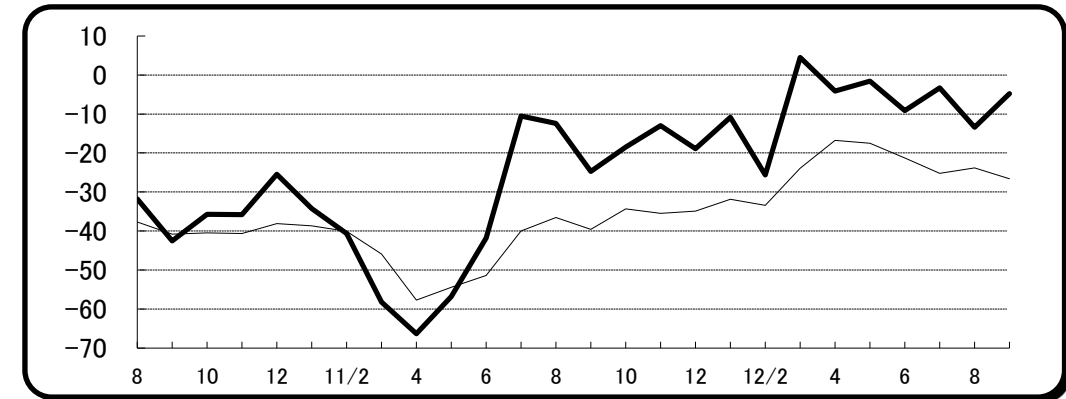
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
建設	4.2	▲8.7	8.3	8.3	▲4.5	4.5	▲9.1
製造	▲10.0	7.4	▲6.5	▲3.7	▲18.5	▲13.0	▲34.8
卸売	▲14.3	▲11.1	0.0	▲30.0	▲44.4	12.5	▲12.5
小売	▲12.9	0.0	▲20.0	▲20.0	▲18.5	▲19.2	▲7.4
サービス	6.5	▲3.1	▲18.5	12.9	0.0	4.0	▲4.0

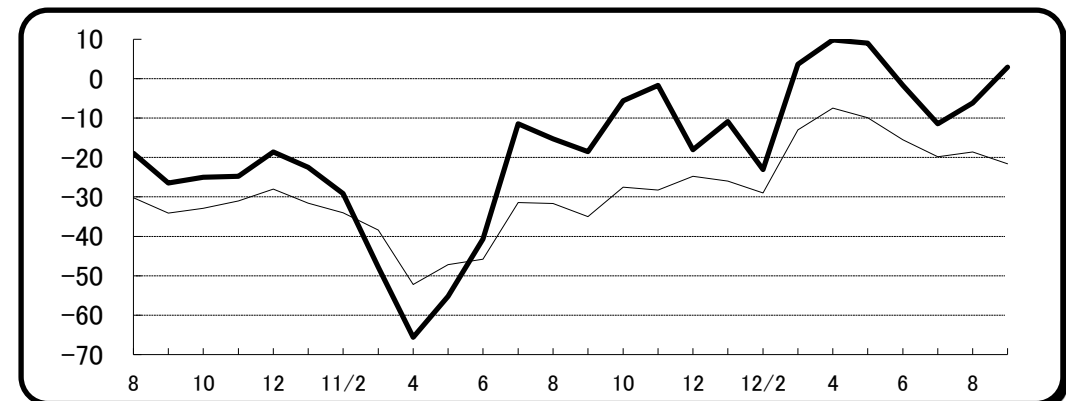
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）

—— 東北 —— 全国

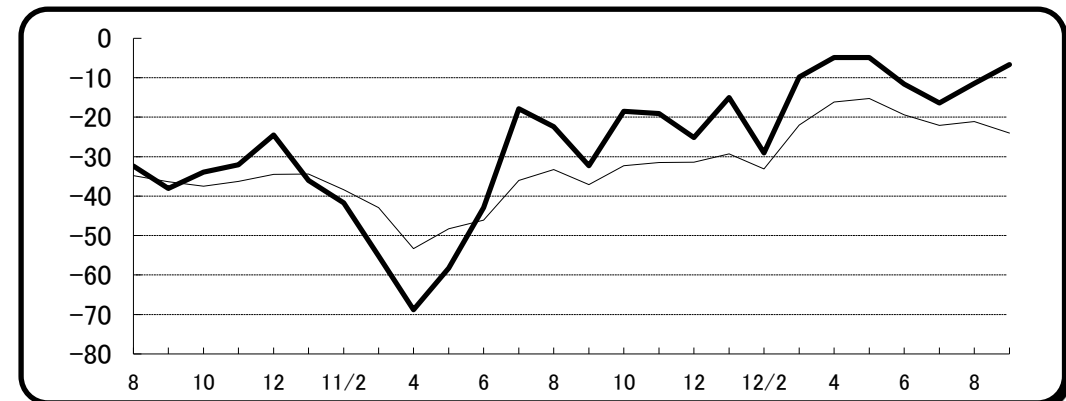
業況



売上



採算



【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況D Iは、前月と比べマイナス幅は拡大。産業別にみると、サービス業でマイナス幅が縮小、その他の4業種でマイナス幅が拡大した。

○ねん系製造業からは、「自社製品の輸出減少に伴い売上が悪化しているほか、電気料金の値上げも経営に影響が出ている」とのコメント。漆器製造・販売業からは、「夏以降、観光客が東京や東北へ流れているように感じる。秋の観光シーズンに向けて集客に注力したい」とのコメント、一般機械卸売業からは、「輸出の減少やコストダウン要請が強くなっている。低価格が取引の第一条件になっており、厳しい状況」とのコメント。飲食店からは、「業況が改善していることから、店舗の改装を実施。今後の集客に期待」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月と比べ改善する見込み。産業別にみると、建設業は悪化、サービス業は横ばい、その他の3業種は改善する見込み。

全産業D I（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
業況	▲ 20.7	▲ 17.5	▲ 24.2	▲ 21.8	▲ 19.1	▲ 25.8	▲ 21.9
売上	▲ 6.7	▲ 10.2	▲ 24.2	▲ 13.5	▲ 15.7	▲ 24.2	▲ 27.6
採算	▲ 23.0	▲ 16.9	▲ 24.8	▲ 17.3	▲ 20.3	▲ 26.6	▲ 22.8
資金繰り	▲ 17.0	▲ 13.9	▲ 15.9	▲ 15.6	▲ 15.2	▲ 19.7	▲ 20.3
仕入単価	▲ 32.6	▲ 23.4	▲ 21.6	▲ 15.5	▲ 17.6	▲ 14.1	▲ 21.1
従業員	▲ 1.5	0.7	▲ 3.3	▲ 2.6	▲ 0.7	▲ 3.9	▲ 1.6

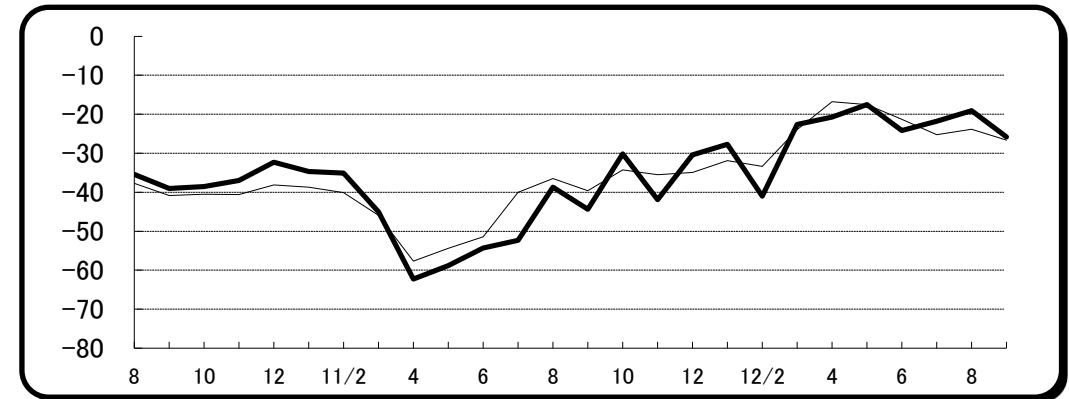
産業別業況D I（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
建設	▲ 35.7	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 26.7	▲ 21.9	▲ 24.1	▲ 34.5
製造	▲ 7.1	▲ 13.8	▲ 8.8	▲ 22.6	▲ 11.8	▲ 23.3	▲ 20.0
卸売	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 15.8	▲ 27.8	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 23.1
小売	▲ 25.9	▲ 20.0	▲ 22.9	▲ 23.5	▲ 15.6	▲ 21.4	▲ 7.1
サービス	▲ 17.9	▲ 5.3	▲ 33.3	▲ 14.0	▲ 26.5	▲ 25.0	▲ 25.0

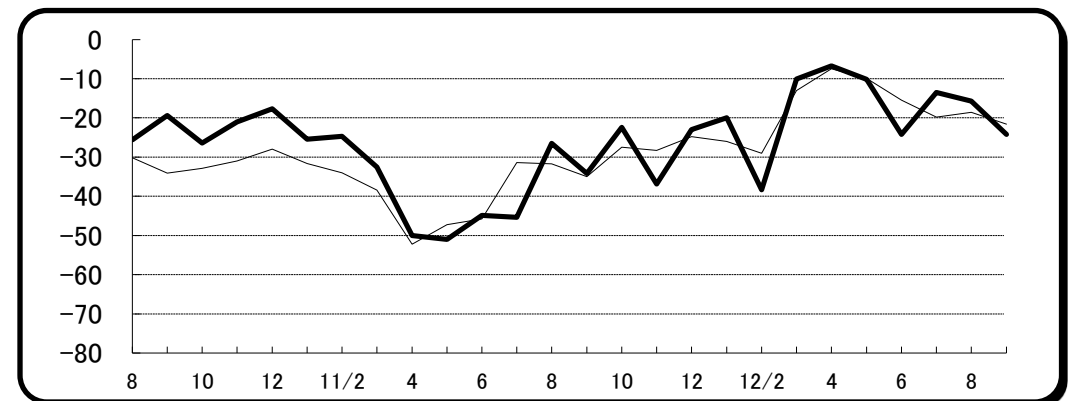
ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越 —— 全国

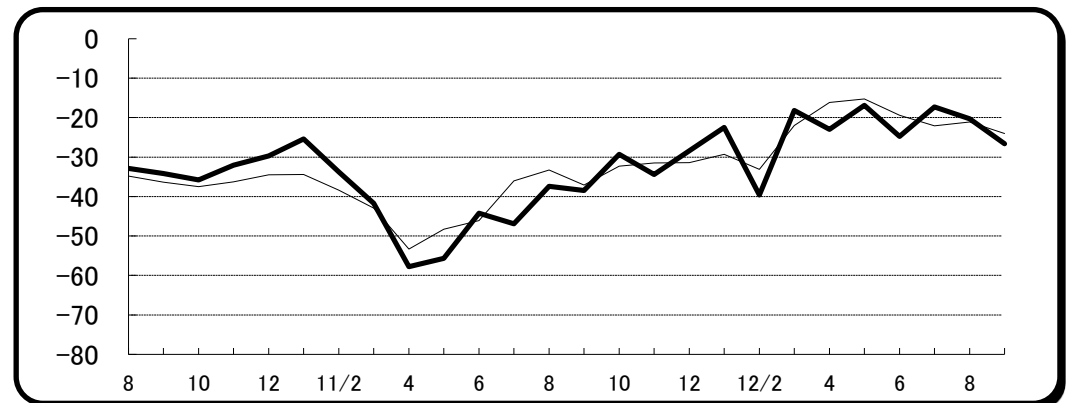
業況



売上



採算



【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅は拡大。産業別にみると、建設業、卸売業はマイナス幅が縮小したもの、その他の3業種で悪化した。

○一般工事業からは、「コンビニ等の出店が増加していることから、新装工事の受注ができるよう営業強化を図る」との声、パネ製造業からは、「中国の日系企業において操業一時停止が相次いでおり、自社への影響を懸念」とのコメント。商店街からは、「大手との価格競争が激化。地元小売店では太刀打ちできない」とのコメント。旅館業からは、「うなぎ等の高騰や電力料金の値上げに伴うコスト上昇分を価格に転嫁できない」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、小売業は改善、卸売業は横ばい、その他の3業種で悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
業況	▲ 11.5	▲ 15.3	▲ 19.6	▲ 25.9	▲ 25.3	▲ 28.1	▲ 29.7
売上	3.7	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 18.3	▲ 19.6	▲ 22.6	▲ 21.9
採算	▲ 8.0	▲ 14.6	▲ 24.0	▲ 22.5	▲ 24.0	▲ 25.8	▲ 26.1
資金繰り	▲ 5.6	▲ 10.1	▲ 12.8	▲ 12.9	▲ 13.5	▲ 16.0	▲ 18.3
仕入単価	▲ 29.5	▲ 26.2	▲ 18.2	▲ 15.0	▲ 16.8	▲ 20.9	▲ 20.9
従業員	2.1	▲ 0.4	1.7	▲ 0.4	3.0	4.0	2.8

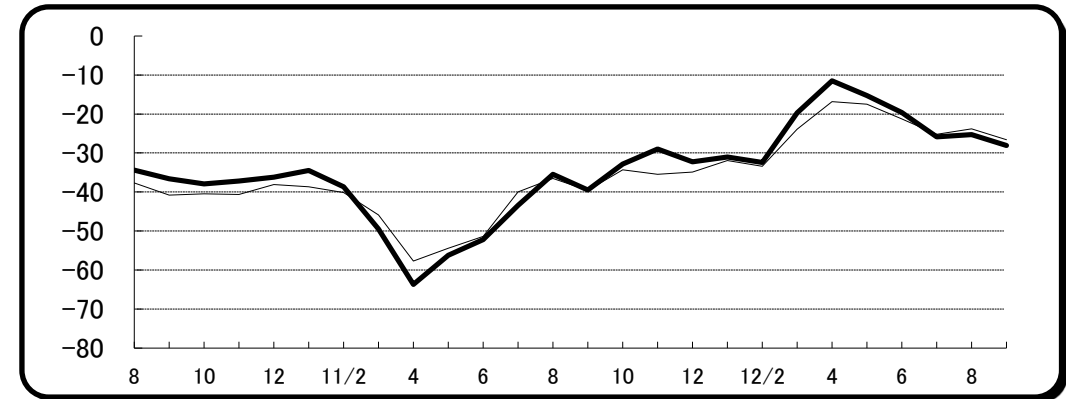
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
建設	▲ 19.4	▲ 20.8	▲ 13.7	▲ 23.1	▲ 18.7	▲ 10.3	▲ 24.1
製造	▲ 7.3	▲ 9.3	▲ 24.0	▲ 27.0	▲ 29.8	▲ 37.4	▲ 41.4
卸売	▲ 3.4	▲ 6.2	▲ 1.6	▲ 18.0	▲ 27.9	▲ 19.6	▲ 19.6
小売	▲ 29.0	▲ 25.7	▲ 24.3	▲ 42.3	▲ 31.5	▲ 42.4	▲ 30.4
サービス	0.9	▲ 13.9	▲ 24.3	▲ 15.0	▲ 17.5	▲ 20.6	▲ 25.5

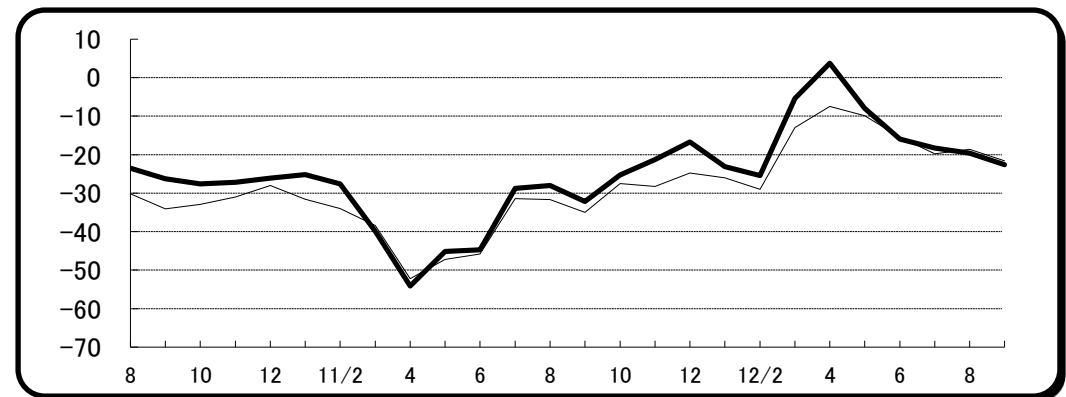
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）

—— 関東 —— 全国

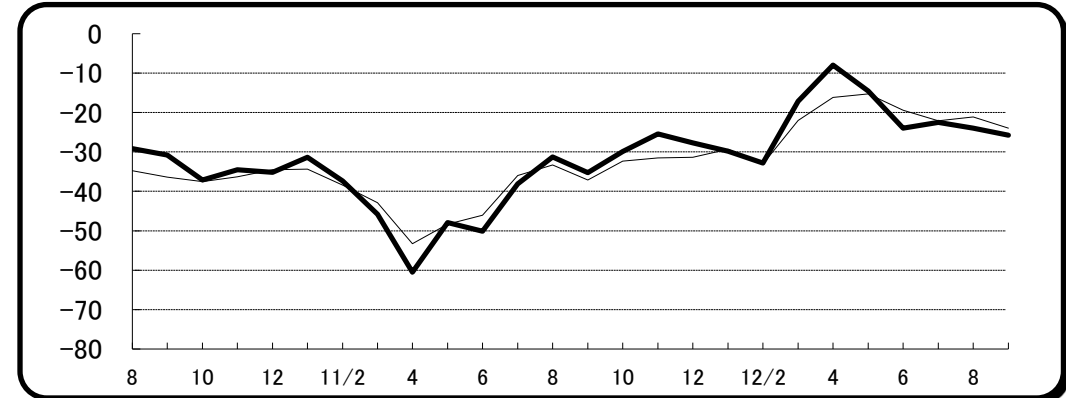
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東海】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、建設業、卸売業は改善、その他の3業種は悪化した。

○一般工事業からは、「若い技能工を2～3名採用したい。異業種への参入も検討している」とのコメント。自動車部品製造業からは、「欧州・中国への輸出が減少していることから、売上が低迷」とのコメント。酒類販売店からは、「第三のビール等の安価な商品しか売れない。原油価格の上昇もあり、収益の減少が続く見込み」との声、運送業からは、「原油価格が高騰しても価格転嫁は出来ない。経費節減も限界であり、厳しい状況」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、製造業、小売業は悪化、その他の3業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
業況	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 11.1	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.1	▲ 24.6
売上	▲ 6.8	0.0	▲ 2.7	▲ 7.4	▲ 13.9	▲ 12.9	▲ 14.4
採算	▲ 15.1	▲ 2.9	▲ 6.3	▲ 15.3	▲ 12.8	▲ 17.6	▲ 21.9
資金繰り	▲ 6.3	▲ 7.8	▲ 12.4	▲ 10.6	▲ 5.5	▲ 9.4	▲ 11.5
仕入単価	▲ 28.0	▲ 24.0	▲ 16.1	▲ 11.5	▲ 8.6	▲ 18.0	▲ 15.9
従業員	5.7	0.5	3.7	2.4	3.4	▲ 2.1	2.1

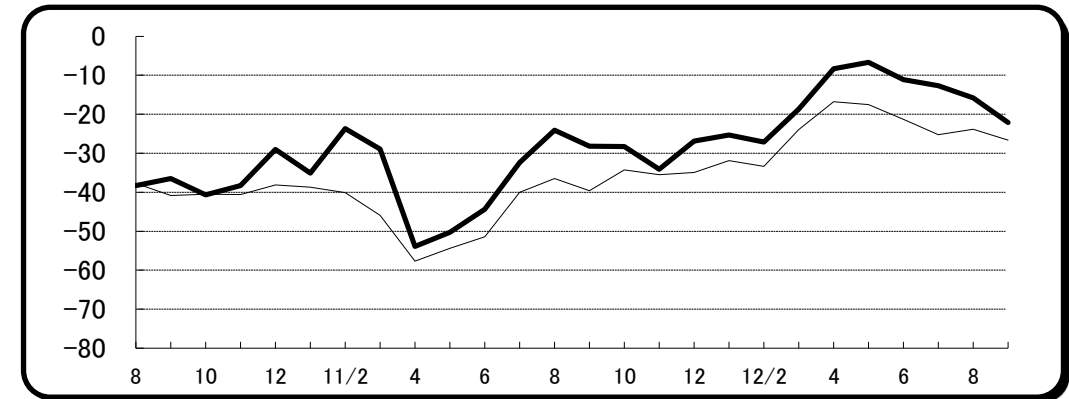
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10～12月
建設	▲ 19.2	▲ 30.8	▲ 17.4	▲ 35.7	▲ 14.3	▲ 3.7	3.7
製造	7.8	14.5	5.2	4.7	▲ 5.7	▲ 20.3	▲ 33.9
卸売	▲ 15.8	0.0	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 16.7	▲ 5.9	0.0
小売	▲ 25.6	▲ 34.1	▲ 42.1	▲ 42.5	▲ 40.5	▲ 50.0	▲ 52.5
サービス	▲ 6.7	▲ 3.6	0.0	▲ 1.8	▲ 8.9	▲ 17.3	▲ 15.4

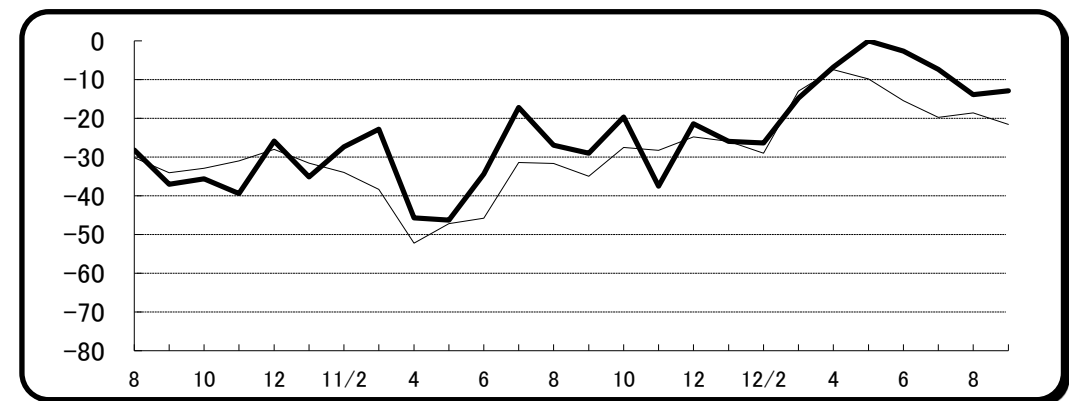
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）

—— 東海 —— 全国

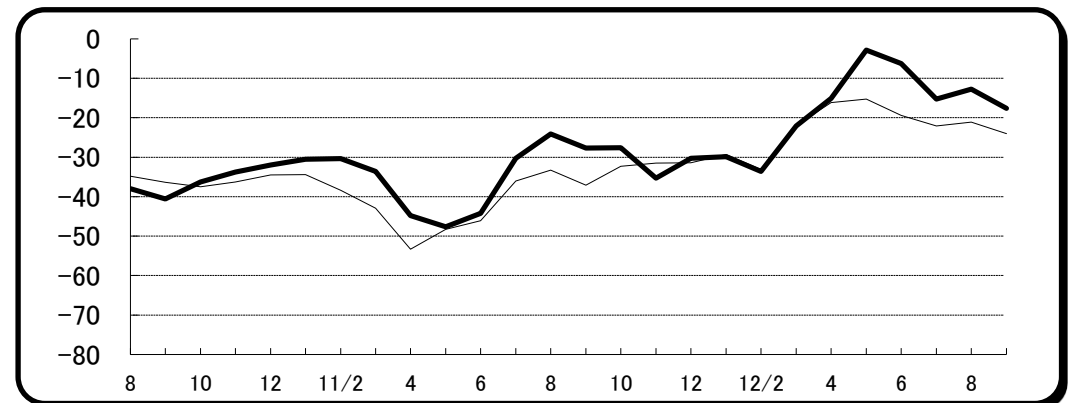
業況



売上



採算



【ブロック別概況・近畿】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、建設業、卸売業でマイナス幅が縮小、その他の3業種で悪化した。

○一般工事業からは、「仕入価格が上昇し、収益を圧迫。より安価な仕入先の開拓に注力している」との声、瓦製造業からは、「発注が低調なことから売上が減少。来月以降は引き合いがあり、好転を見込む」とコメント。商店街からは、「残暑が厳しかったため、秋物衣料の動きが弱かった。今後は、中国人・韓国人観光客の動向を注視したい」とのコメント。旅館業からは、「連休中は団体やグループ客の利用が多かったものの、前年同月と比べると売上は減少」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業はマイナス幅が拡大するものの、その他の4業種は改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
業況	▲ 25.7	▲ 19.9	▲ 30.3	▲ 37.6	▲ 18.9	▲ 27.1	▲ 20.9
売上	▲ 10.7	▲ 8.2	▲ 17.2	▲ 31.9	▲ 13.8	▲ 21.1	▲ 16.6
採算	▲ 26.0	▲ 18.9	▲ 28.2	▲ 28.3	▲ 18.6	▲ 22.9	▲ 20.0
資金繰り	▲ 13.6	▲ 8.8	▲ 12.2	▲ 18.9	▲ 3.6	▲ 12.1	▲ 10.4
仕入単価	▲ 31.1	▲ 28.4	▲ 18.1	▲ 11.0	▲ 7.2	▲ 15.6	▲ 17.3
従業員	0.0	▲ 3.6	▲ 2.9	▲ 1.2	1.2	1.1	2.9

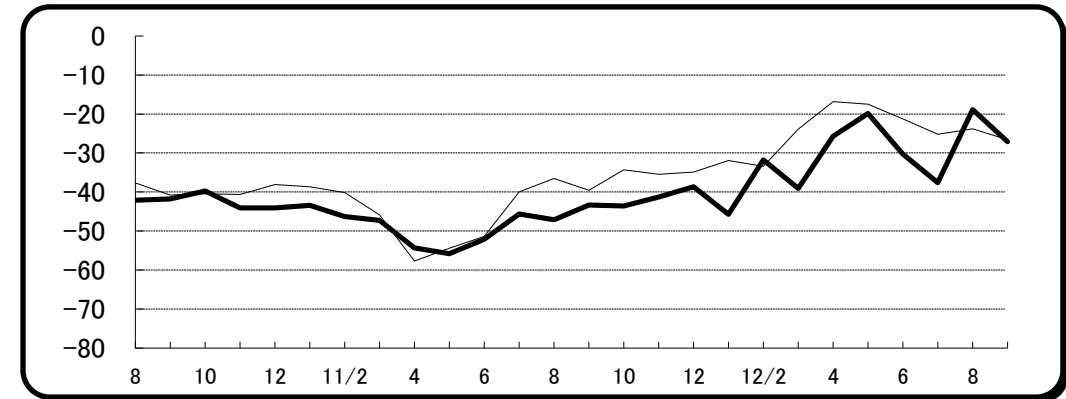
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
建設	▲ 33.3	▲ 4.8	▲ 22.2	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 13.0	▲ 17.4
製造	▲ 15.4	▲ 13.2	▲ 11.3	▲ 25.5	▲ 7.8	▲ 20.8	▲ 7.5
卸売	▲ 37.5	▲ 26.3	▲ 21.1	▲ 31.3	▲ 31.3	▲ 20.0	▲ 15.0
小売	▲ 29.5	▲ 29.1	▲ 47.7	▲ 54.5	▲ 32.5	▲ 36.4	▲ 31.8
サービス	▲ 26.3	▲ 20.8	▲ 43.9	▲ 45.0	▲ 13.2	▲ 37.8	▲ 32.4

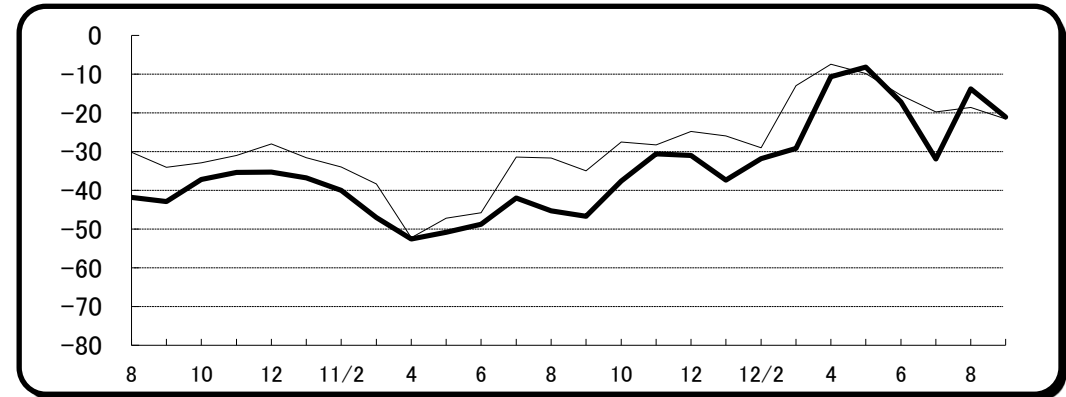
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（近畿）

近畿 全国

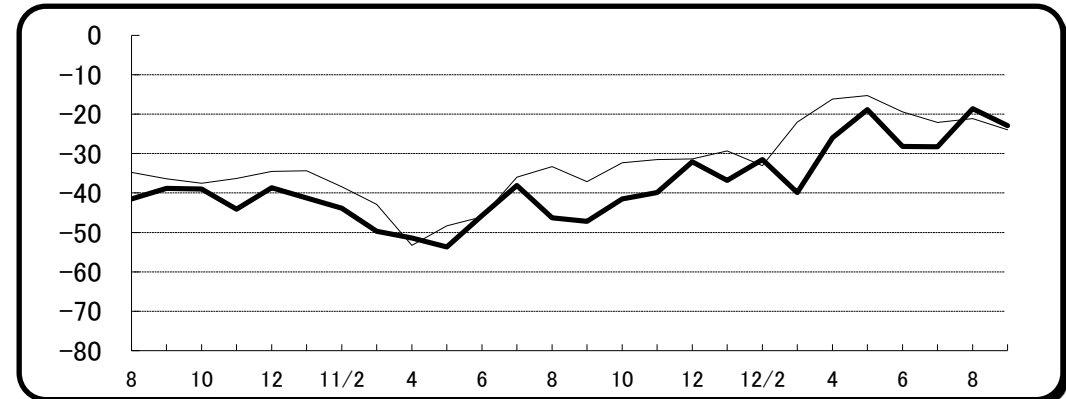
業況



売上



採算



【ブロック別概況・中国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業、卸売業でマイナス幅が拡大したものの、その他の3業種でマイナス幅が縮小した。

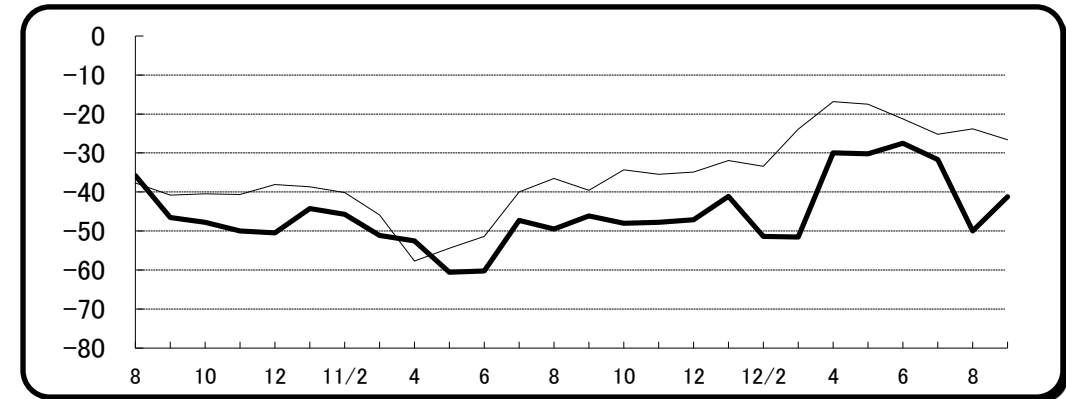
○一般工事業からは、「学校の耐震化工事を受注できたものの、民間工事は少なく、総じて低調」とのコメント。プレス加工業からは、「円高の影響により、自社製品の輸出が不振。売上にも影響が出ている」とのコメント。造船業からは、「中国や韓国との受注競争が激化しているが、低価格化に対応できず厳しい」との声、旅館業からは、「宿泊予約が多数あるため、売上は増加しているものの、客単価が伸び悩んでいる」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善するの見込み。産業別にみると、製造業は横ばい、その他の4業種で改善する見込み。

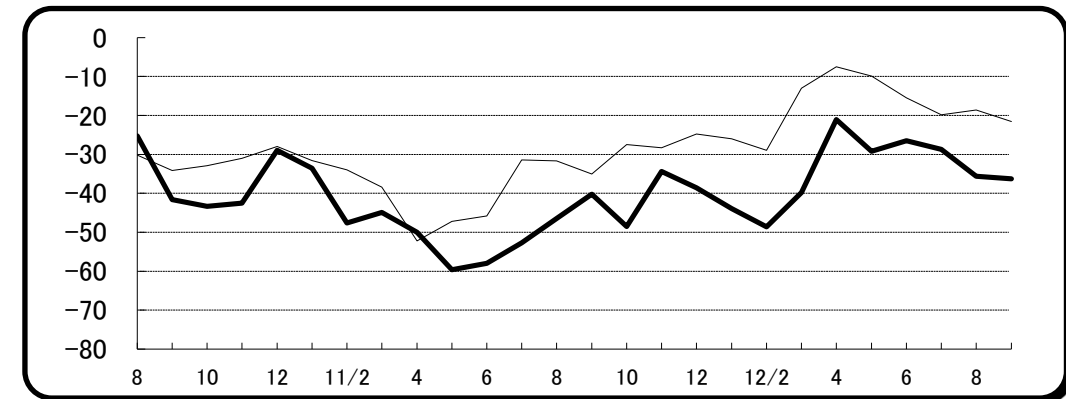
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）

——— 中国 —— 全国

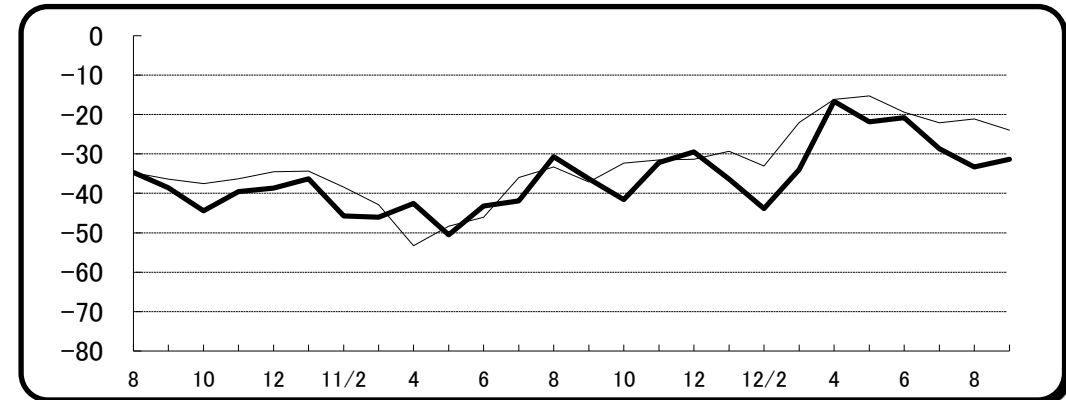
業 況



売 上



採 算



全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
業 況	▲ 30.0	▲ 30.2	▲ 27.5	▲ 31.7	▲ 50.0	▲ 41.2	▲ 29.0
売 上	▲ 21.1	▲ 29.2	▲ 26.5	▲ 28.7	▲ 35.6	▲ 36.3	▲ 30.0
採 算	▲ 16.7	▲ 21.9	▲ 20.8	▲ 28.7	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 25.0
資金繰り	▲ 14.8	▲ 20.0	▲ 16.8	▲ 17.3	▲ 19.1	▲ 19.2	▲ 14.4
仕入単価	▲ 21.6	▲ 17.9	▲ 11.9	▲ 16.0	▲ 3.4	▲ 8.9	▲ 9.2
従 業 員	▲ 16.7	▲ 15.6	▲ 10.8	▲ 10.9	▲ 6.7	▲ 8.8	▲ 5.1

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
建 設	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 27.3	▲ 11.1	▲ 18.2	▲ 9.1
製 造	▲ 29.6	▲ 23.3	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 51.9	▲ 33.3	▲ 33.3
卸 売	▲ 26.7	▲ 18.8	▲ 42.9	▲ 40.0	▲ 53.8	▲ 69.2	▲ 46.2
小 売	▲ 38.1	▲ 40.9	▲ 48.0	▲ 65.2	▲ 75.0	▲ 60.0	▲ 34.8
サービ	▲ 29.4	▲ 44.4	▲ 20.0	▲ 10.5	▲ 29.4	▲ 25.0	▲ 15.0

【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、卸売業でマイナス幅が縮小、その他の4業種で拡大した。

○製材業からは、「原材料価格が上昇。他方で、価格競争は激しさを増しており、利益を出すことが難しい」とのコメント。衣類・日用品卸売業からは、「設備の老朽化に伴い、新規購入を考えているが、資金繰りが不安」との声、百貨店からは、「商店街の利用客数減少に伴い、自社の売上や来店者数も低迷している」とのコメント。飲食店からは、「個人消費が冷え込んでおり、売上減少が続く。原材料価格の動向も心配」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみても、全業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
業況	▲ 21.6	▲ 37.4	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 29.2	▲ 40.4	▲ 24.8
売上	▲ 21.6	▲ 25.2	▲ 26.4	▲ 32.5	▲ 28.3	▲ 34.9	▲ 20.2
採算	▲ 25.5	▲ 21.7	▲ 24.0	▲ 30.8	▲ 27.4	▲ 36.7	▲ 24.8
資金繰り	▲ 12.9	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 15.5	▲ 18.6	▲ 13.8	▲ 17.4
仕入単価	▲ 31.4	▲ 27.8	▲ 24.0	▲ 23.1	▲ 22.1	▲ 22.9	▲ 16.5
従業員	1.0	▲ 3.5	▲ 3.3	▲ 6.8	▲ 0.9	0.0	0.9

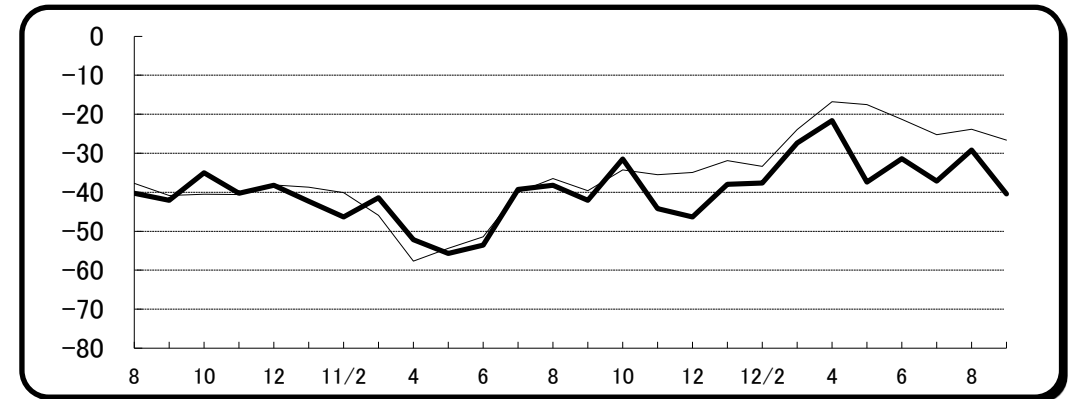
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
建設	▲ 44.4	▲ 52.4	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 40.0
製造	▲ 15.4	▲ 34.5	▲ 17.9	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 36.0	▲ 8.0
卸売	▲ 11.1	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 63.6	▲ 25.0	▲ 20.0	10.0
小売	▲ 20.8	▲ 44.4	▲ 43.3	▲ 50.0	▲ 40.7	▲ 55.6	▲ 40.7
サービス	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 29.6	▲ 25.9

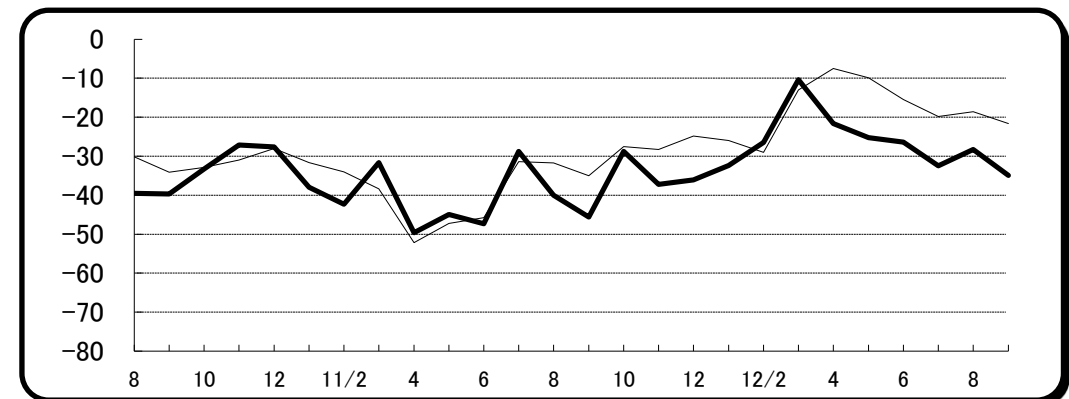
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）

—— 四国 —— 全国

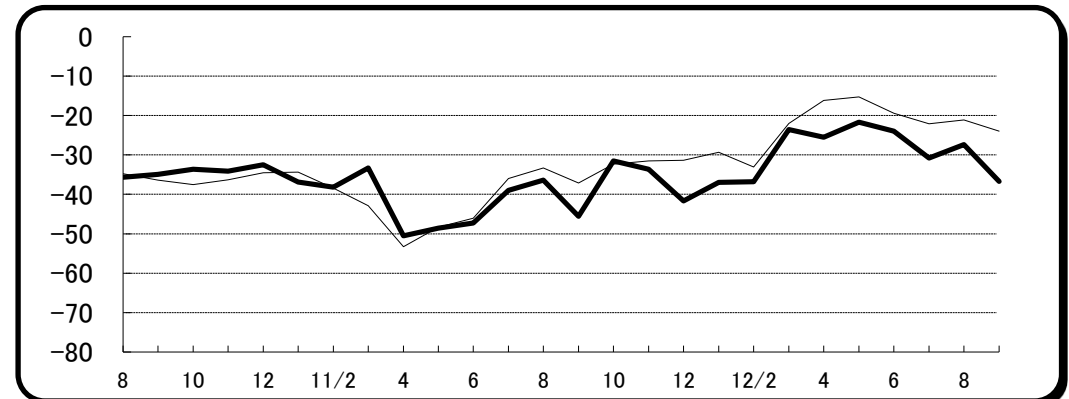
業況



売上



採算



【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況D Iは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、卸売業、サービス業はマイナス幅が縮小、その他の3業種で悪化した。

○建築工事業からは、「入札価格の低下が続いており、受注出来ても収益が上がらない」とのコメント。造船業からは、「復興需要を期待して東北で営業を続けているものの、競争が激しく受注は低調」とのコメント。農産物卸売業からは、「穀物価格の高騰により、自社が取り扱う加工品も値上げされ、仕入価格は上昇」との声、商店街からは、「大手の店舗や専門店に押されて、地元小売店は不振が続いている」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業はマイナス幅が拡大、卸売業は横ばい、その他の3業種はマイナス幅が縮小する見込み。

全産業D I（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
業況	▲ 28.5	▲ 30.5	▲ 25.2	▲ 35.4	▲ 34.1	▲ 35.4	▲ 27.5
売上	▲ 26.4	▲ 24.1	▲ 19.9	▲ 26.7	▲ 27.4	▲ 30.8	▲ 20.6
採算	▲ 23.4	▲ 30.7	▲ 15.2	▲ 25.2	▲ 27.4	▲ 31.0	▲ 22.9
資金繰り	▲ 18.8	▲ 14.3	▲ 16.0	▲ 16.3	▲ 18.5	▲ 21.9	▲ 18.6
仕入単価	▲ 33.3	▲ 21.1	▲ 20.0	▲ 17.1	▲ 16.3	▲ 22.5	▲ 25.4
従業員	▲ 6.9	▲ 6.4	▲ 2.6	▲ 3.8	▲ 0.7	▲ 6.2	▲ 3.8

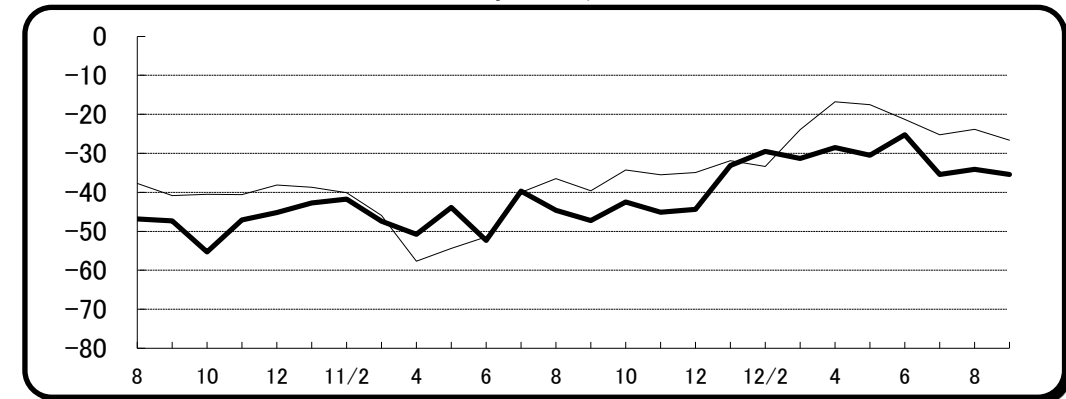
産業別業況D I（前年同月比）の推移

	12年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 10~12月
建設	▲ 45.5	▲ 38.1	▲ 42.9	▲ 72.2	▲ 31.8	▲ 36.8	▲ 47.4
製造	▲ 26.5	▲ 13.8	▲ 18.2	▲ 16.1	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 18.5
卸売	▲ 33.3	▲ 19.0	0.0	▲ 11.8	▲ 22.2	▲ 10.0	▲ 10.0
小売	▲ 37.1	▲ 55.6	▲ 35.9	▲ 56.3	▲ 35.3	▲ 40.6	▲ 34.4
サービス	▲ 8.6	▲ 20.6	▲ 23.7	▲ 25.0	▲ 42.9	▲ 37.5	▲ 27.3

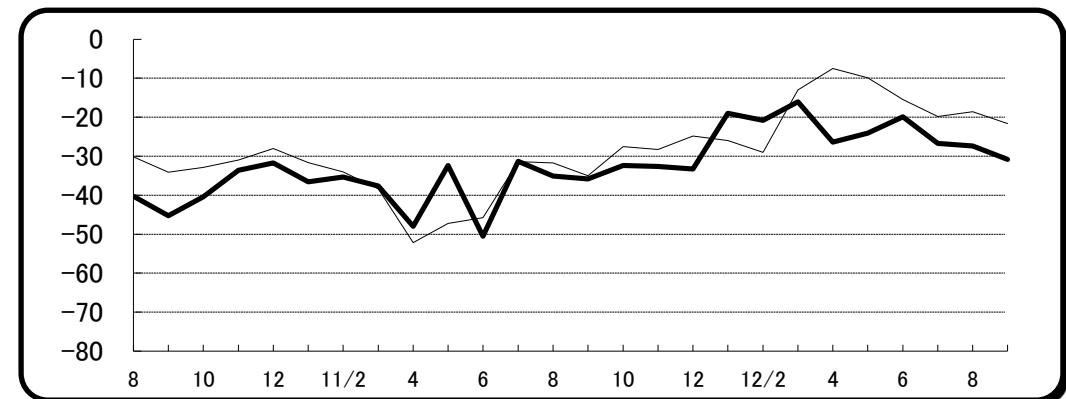
ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（九州）

九州 全国

業況



売上



採算

